

2022(令和4)年度 事業報告書

【1】事業の状況

2022年度事業計画に基づき、各事業を以下のとおり実施した。

新型コロナウイルス(Covid-19)の感染拡大防止および海外演奏家の渡航制限等による事業活動への影響はなくなったが、ロシア・ウクライナ紛争による影響がオーケストラ助成事業において発生している。

1. 意欲的な音楽活動に対する助成（オーケストラ助成事業）

2020年度から当財団のオーケストラ助成対象企画の演奏会が、新型コロナウイルス対策関連で延期・中止等の判断を余儀なくした場合、「新型コロナウイルス対策によるイベント自粛要請等に対するオーケストラ助成の対応について（運用内規）」に基づき運用してきたが、新型コロナウイルス対策関連の一事象に限らず運用できるようにするため、適用範囲を「社会的な事由」とし、また期限内規を恒久内規に改定し2022年度より運用することとした。

なお、「社会的な事由」の判断は、オーケストラ助成委員会の答申を受け理事長の決裁により認められ、理事長は理事会に報告することとしている。

(1) 2022年度オーケストラ助成の実施（公演実施助成分）

国内プロオーケストラが行う意欲的な公演31企画に対し、総額38,900千円の助成を実施した。

【アフィニス エンブレム】（助成実績11企画28,900千円）

「音楽文化の担い手としてのプロオーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」

【アフィニス エチケット】（助成実績20企画10,000千円）

「楽団としての成長、発展を目指して企画された意欲的な公演」

(2) 2021年度の新型コロナウイルス対策等による中止、延期、企画変更、無観客演奏会への助成

新型コロナウイルス感染・拡大防止によるイベント自粛要請に伴い延期された、2021年度の助成対象公演に対し、当初予定の企画通り実施されたことから、助成を行なった。

2022年度に延期となった企画

助成実績 1企画 3,000千円

(3) 2023年度オーケストラ助成対象企画の決定

国内プロオーケストラが行う意欲的な公演 35 企画に対し、総額 41,000 千円の助成を行う計画を決定した。

【アフィニス エンブレム】	6 企画	22,000 千円
【アフィニス メダイユ】	9 企画	9,000 千円
【アフィニス エチケット】	20 企画	10,000 千円

2. 音楽家の研鑽に対する助成

(1) 「アフィニス夏の音楽祭 2022 Nagaoka (第 34 回)」の開催

海外から演奏家を招聘し、国内プロオーケストラ楽団員を対象として、室内楽セミナーを実施し、室内楽演奏会を開催したほか、現地実行委員会と協働して音楽交流プログラムを実施した。

また、「アフィニス夏の音楽祭 2023 Nagaoka (第 35 回)」の開催に向けた諸準備を行うとともに、次代開催候補地の調査・検討を行い、開催地を内定した。

(2) 「アフィニス・アンサンブル・セレクション (AES)」の実施

国内プロオーケストラ所属楽団員が室内楽演奏活動を行うことを支援するため、楽団員による自主公演の募集・選考を行い、計 8 件約 1,200 千円の室内楽公演助成を実施した。

また、2021 年度助成採択団体の中から選抜された優秀なグループ及びアフィニス・セミナー&音楽会 2021Nagaoka の参加グループを出演団体として、古賀政男音楽博物館けやきホールにおいて AES 特別演奏会を開催した。

(3) プロオーケストラ所属楽団員に対する海外研修助成の実施

2022 年度は、募集開始時点における渡航規制や世界情勢を勘案し、募集実施を見合わせた。

2023 年度派遣予定の海外研修員を公募・選考し、1 名を内定した。

3. 芸術文化に関する調査研究

2022 年度は、事業休止である。

以上